

家庭での防火対策は できていますか？



富士市消防防災
キャラクター「ふじ坊」

防火対策について、各家庭でもう一度、確認してみましょう。

【火災発生状況】

ことしの1～6月に市内で発生した火災件数は、48件でした。火災種別では、「建物火災」が20件、「車両火災」が7件、「その他の火災」が21件でした。昨年の同時期と比べると、合計で21件もの増加となっています(左表参照)。

また、平成28年に発生した火災の出火原因で最も多かったのは「こんろ」で7件、次いで「たばこ」・「放火」が各5件でした。

【平成28・29年上半期の火災発生状況】

(単位：件)

		平成29年	平成28年	前年比
冬 季 (1～3月)	建物火災	11	7	4
	車両火災	4	3	1
	その他の火災	12	3	9
	合 計	27	13	14
春 季 (4～6月)	建物火災	9	11	-2
	車両火災	3	2	1
	その他の火災	9	1	8
	合 計	21	14	7
合 計		48	27	21

【我が家を守る4つのポイント】

家庭内で次の4つの防火対策に努めましょう。

放火火災対策

- 家の周りに燃えやすい物を置かず、常に整理整頓をする。
- 空き家、物置、車庫などには、必ず施錠をする。
- ごみは、収集日の決められた時間に出す。
- 家の周りは、照明を点灯し明るくする。



たばこ火災対策

- 絶対に寝たばこをしない。
- 灰皿には、吸い殻をためない。
- 吸い殻は、完全に火を消してから捨てる。

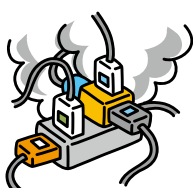


こんろ火災対策

- 調理中は、その場を離れない。
- こんろの周りに、燃えやすい物を置かない。
- 調理中は衣服に火がつかないように注意する。

コンセントなどの対策

- タコ足配線はしない。
- 電気コードを家具などの下敷きにしらない。
- コンセントのプラグは、長期間差し込んだままにせず、定期的に掃除する。



住宅用火災警報器は「いのち」の見張り番！

皆さんの家にも、住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。大切な家族を守るため、機器の設置と定期的な点検をしましょう。



教えて！ふじ坊くん！！

住宅用火災警報器の日ごろのメンテナンスはどうしたらいいの？

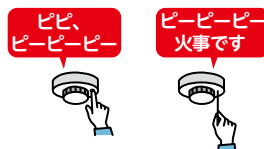


Q 機器の点検はいつするの？

A 月に1回程度、電池切れになっていないか、作動点検をしましょう。また、定期的に掃除機などで、ほこりをとりましょう。

Q 点検の方法は？

A ボタンを押すか、ひもを引くことにより、簡単に作動点検ができます。機器から発せられるメッセージまたは警報音を確認しましょう。



Q 機器の寿命は？

A 古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。10年を目安に交換しましょう。

機器の設置や点検など詳しくは、市ウェブサイトをご覧ください。
【市ウェブサイト】くらしと市政↓防災・安全安心↓消防・救急↓火災予防↓住宅用火災警報器↓ついでますか？住宅用火災警報器！

問い合わせ／消防本部予防課

☎(55)2859

FAX(53)4633